

広島県大崎上島町

■ 調査項目

U I J ターンの取り組みについて

・ 調査期日

平成28年2月23日（火）午後1時から

・ 調査内容

島根県海士町へU I J ターンの取り組みの行政視察に行った時、対応くださった大江課長より「広島では大崎上島町さんがしっかり取り組んでおられ、良く交流している」と聞かされ、「灯台もと暗し」で認識不足を恥入った次第で早速、事務局にお願いして手配をしていただきました。

企画振興課まちづくり推進係の松浦美保子係長の説明を受け、生き残りをかけた自治体の使命、役割の重さを先に視察した海士町・矢祭町の取り組みを知るにつけ、安易に合併の道を選んだ10年前を振り返りつつ、反省の念にかられ、複雑な気持ちになりました。

大崎上島町は、海士町とは少し趣が違い、年配者の移住が多いようですが、しかし、200人を超える人達を迎え入れているのには驚きでした。試験的に様子見で来られる方々の為に、体験型住宅を用意しているのに大変素敵な制度だと思いました。

今後は、町所有の広大な未利用地をレモン農園として活用することや、一次産業の振興や、県教委が計画している特別リーダー校への名乗りをあげるなど、教育面の充実も図ろうとして、U I J ターンの受け入れに資する事に力を入れていることを知ることができました。